国指定名勝 三溪園
記者発表資料

2025 年（令和 7）3 月 24 日
公益財団法人 三溪園保勝会

目標を上回る 452 万円の寄附を達成

横浜・三溪園　ご支援を受けて園内設備を充実化

国指定名勝「三溪園」（所在地：横浜市中区）は、環境整備を目的として実施したクラウドファンディング型ふるさと納税によるご寄附を改修工事費として活用し、三溪記念館内のトイレ設備の充実を図りました。多くの皆様にお力添えいただきましたこと、深く感謝いたします。

三溪園では、3月下旬から桜が咲き始め、一年の中でも特に美しい季節を迎えます。期間限定で夜間のライトアップも行われ、歴史ある建築と自然が調和した幻想的な桜の風景を楽しむことができますので、より快適になった三溪園で春の訪れを心ゆくまで満喫してください。

■クラウドファンディング型ふるさと納税 実施概要

実施期間 ｜ 2024 年 10 月 1 日(火)～12 月 31 日(火)

目標金額 ｜ 400 万円

達成金額 ｜ 452 万 3,500 円（173 人）

なお、三溪園ではオンラインによる都度寄附やマンスリーサポーター制度を常時受け付けています。

https://www.sankeien.or.jp/donation/

■寄附金の使途

・三溪記念館内の女性用トイレ内ベビーシートの交換、男性用トイレにベビーシートを新設
・三溪記念館内の女性用および男性用トイレすべての和式トイレを洋式トイレに変更
・三溪記念館内の女性用および男性用トイレにおける古くなった洋式便座の更新やウォシュレットの取付
・三溪記念館内の男性用トイレ内洗面台の交換

2025 年（令和 7）3 月 24 日
公益財団法人 三溪園保勝会

■桜ライトアップについて

日　程｜ 3月28日(金)～4月 6 日(日)
時　間｜ 18：00頃～21：00(最終入園20：30)　*9：00より入園可
場　所｜ 外苑（17:00以降は内苑と三重塔への山道は立入禁止）
料　金｜ 入園料のみ

ライトアップ開催期間中の金・土・日は、JR根岸駅⇔三溪園間の無料バスが運行します。
詳細はウェブサイトよりご確認ください。https://www.sankeien.or.jp/event/8561/

三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって創られ、1906 年（明治 39）5 月 1 日に一般公開されました。約 17.5ha（東京ドーム約 3.7 個分）に及ぶ園内には、廃仏毀釈などによる荒廃から守るため、京都や鎌倉などから移築された歴史的価値の高い建造物が巧みに配置されており、古建築と自然が調和した四季折々の景色が楽しめる日本庭園です。開園当初は「遊覧御随意」を掲げ外苑を 24 時間無料開放するなど、「美しいものはみんなで一緒に楽しむもの」という原三溪の想いが反映されています。原三溪の存命中は新進芸術家の育成と支援の場ともなり、横山大観、下村観山、前田青邨らを輩出するなど、日本美術への貢献も評価されています。戦災により大きな被害をうけ、1953 年（昭和 28）に原家から横浜市に譲渡されるのを機に財団法人三溪園保勝会が設立され、現在に至ります。2007 年（平成 19）には国の名勝に指定され、現在園内にある 17 棟の古建築のうち 10 棟が重要文化財、3 棟が横浜市指定有形文化財に指定されています。

施設概要

施設名	三溪園(さんけいえん)
運 営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824　神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
公式 HP	https://www.sankeien.or.jp
Instagram	https://www.instagram.com/sankeien_garden
X	https://twitter.com/HSankeien
入園料	大人 900 円／小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 700 円(公的証明書の提示が必要)
開園時間	9：00～17：00(最終入園 16：30) 桜ライトアップ開催日は 9：00～21：00（最終入園 20：30）
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分

本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 企画広報課　永山・加藤・向井
TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343
MAIL：websupport@sankeien.or.jp